別記様式第７（第７条関係）（平７総府令３・全改、平10総府令８・平11総府令64・平12総府令118・平25文科令８・平26原子規３・令元原子規３・令２原子規21・一部改正）

（その１）

報告年月日	
報告番号	（注１）

特定燃料体挿入報告書

原子力規制委員会　　殿

住所

氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第１項及び国際規制物資の使用等に関する規則第７条第７項の規定により、次のとおり報告します。

事業所	名称		事務上の連絡先（注３）	名称	
	所在地			所在地	
原子炉名				連絡員の氏名	電話番号（　　）
核燃料物質計量管理区域の符号	（注２）				

（その２）

特定燃料体挿入報告書

| | | |

注１　国際規制物資の使用等に関する規則第７条第７項の規定に基づき提出する全ての報告書につき、ＭＢＡごとに「０００１」から欠番、重複のない一連の番号を記載すること。
２　別記様式第４の注３の例により記載すること。
３　別記様式第３の注２の例により記載すること。
４　原子炉名を記載すること。
５　特定燃料体を原子炉内に挿入した日を含む月の始まりと終わりの年月日を記載すること。
６　別記様式第４の注６の例により記載すること。
７　別記様式第４の注７の例により記載すること。
８　別記様式第４の注８の例により記載すること。
９　別記様式第４の注９の例により記載すること。
10　別記様式第４の注10の例により記載すること。
11　別記様式第４の注11の例により記載すること。
12　別記様式第４の注12の例により記載すること。
13　既に報告したデータを削除する場合は「Ａ」と記載すること。
14　特定燃料体を原子炉に挿入した年月日を記載すること。
15　原子炉内に挿入した特定燃料体に関し、計量管理規定で定めた方法により付したバッチの番号を記載すること。
16　別記様式第４の注28の例により記載すること。
17　別記様式第４の注29の例により記載すること。
備考１　この用紙は、日本産業規格Ａ４のつづり込み式とすること。
２　この報告書は、原子炉ごとに別葉で作成すること。